

# 各種行事の御案内

有縁の皆様へ

左記の如く執り行いますので、万障お繰り合わせの上、御参詣くださいますようお願い申し上げます。

一月一日（水） 七時  
修正会

一月十三日（月） 十時  
三日講「味読正信偈」

一月二十三日（木） 十時  
三日講「歎異抄を読む」

二月十三日（木） 十時  
三日講「味読正信偈」

二月二十三日（日） 十時  
三日講「蓮如上人を訪ねて」

三月八日（土） 十時三十分  
彼岸前おみがき

三月十三日（木） 十時  
三日講「味読正信偈」

三月二十三日（日） 十時  
春季彼岸会  
並永代経総経  
講師 三好泰紹師

どなたでも  
お参りください



## 三日講の御案内

当院では、かねてから定例法座の会として、「三日講」が開かれています。毎月十三日、二十三日に、担当の別院職員がお話させていただきます。聴講のみであればご参加は無料です。※正式に三日講員になれる場合は、会の運営の為、講費を頂戴しております。質問、お問合せ等は当院までご連絡ください。

## 仏前結婚式のご報告

九月二十九日

八田 隆純さん  
大橋 恵さん

十一月三十日

上橋 真教さん  
阪東 萌さん



## 結婚式予約状況について

結婚式は以前と同様、通常通りに執行可能となっております。日程の仮押さえなどのお問合せも順次入ってきております。岡崎別院での挙式をご検討の方は、別院までお問合せいただきますようお願いいたします。

予約状況

・一月二十六日 某氏・四月六日 某氏  
・四月二十日 某氏・五月十七日 某氏

## 〱 列座の〱ぶらさ〱

昨年の元旦に能登を襲った震災から一年が過ぎました。先日石川県に帰省しましたら、地元に着いてまもなく、地震警報アラートが鳴りまして、震源地はまたも石川県沖と表示がありました。

今もなお、続いて起こる地震に多くの方が遭われているということ、そして「今私にできることは何なのか」ということを、改めて考えさせられることです。（松岡）

ホームページを順次新しくしております。是非ご覧ください。

宗宝宗史蹟  
親鸞聖人岡崎草庵蹟  
真宗大谷派  
**岡崎別院**

〒606-8335  
京都市左京区岡崎天王町二六  
Tel 075-771-2921  
Fax 075-748-1665  
Mail [info@okazakibetsuin.com](mailto:info@okazakibetsuin.com)  
HP <http://okazakibetsuin.com/>



# 光寿無量

## 〱岡崎別院総合整備

## 落慶法要に念う〱

今年も皆様方と共に新年をお迎え出来たことは、誠に希有なることと、御慶び申し上げます。

なお、本年は、岡崎別院にとつては、四月二十六日の（岡崎別院総合整備落慶法要）が厳修され、その前後には、四月十九日に（岡崎別院落語会）、五月十一日に（おかざきフェスティバル）が催される大きな節目の年を迎えさせて頂くことです。

顧みれば、去年の一月一日十六時十分、当院では修正会も終わり、何組かの参詣の方々が帰られた後、（改修のために造られた仮事務所の中で）職員で談笑をしているその時、大きな揺れを感じネットの情報で能登地震を知った。自坊が金沢近郊である職員が、すぐに自坊の住職に携帯で連絡をし、家族の無事を確認できた。しかしながら、その時には今までに経験したことがない大きな長い揺れであったことを聞かされた。

能登の方々にとつては、その後も復旧の最中、九月二十一日の線状降水帯による水害の発生により、たくさんの犠牲を蒙られ、この一年は途轍もなく長いやりきれない気持ちで過ごされた歳月であり、現在も復旧からほど遠い状況が続いていることに居たたまれなさを感ぜずにはいられない。

第62号  
令和7年  
(2025年)  
1・2・3月号

発行  
岡崎別院  
輪番 福田大

二〇二五年 四月二十六日 午後二時〱

岡崎別院 落慶法要 厳修

御門首御親修 法話 真城義麿師

能登地震の後、昨年の五月頃であったと記憶しているが、たまに観たNHKドキュメンタリー番組で被災された奥能登の御夫婦の様子が映し出されていた。それは、一本の桜の木であったが、地震で真二つに裂かれた木、片方は半分を裂かれ立って、もう半分は地面に横たわっていた。どちらの木も咲きそうにない状況にありながらも、どちらも綺麗に見事に開花している。その光景を御夫婦で見ながら、奥さんがご主人に「あんた、これ観てどう思う」と、ご主人は「それ、桜も裂かれて折られたから生きよう、生きようと必死で花を咲かせたんや」と、それに引き続き、力を込めて、「俺ら夫婦もこの震災で心を折られたんや、この桜のように折られたなかで、俺らも人生に綺麗な花を咲かせような」と言われた。その言葉にこの上のない説得力を感じつつ、お念仏の土徳のある地域の言葉である事に私自身、胸が熱くなるのを感じさせられた。

何が起こるか分からない今を生きているのが事実である。その中であって、何が起ころうと生まれてきたというかけがえのない一大事を生きる。決して愚痴や不平や不満だけで終わらせるわけにはいかない、今を生きているという生き様こそが、往生という言葉では、なかるうか。往生とは決して死んでいく事ではなく、生きて往く、生き切るといふことなのだから。

昨日の続きが今日で、今日の続きが明日であるような生活の中で愚痴、不平、不満一杯で生きる私の生活の事実が、「昨日の続きが今日で、今日の続きが明日である」という生活は、ただの惰性の繰り返しだ。日々新しい真っ白な一日の始まりだ。おはようございませうという言葉は、互いに真っ白な一日が始まったことをお互いに確認をする言葉だ」と、ある師が言われていたことが今、私に響いてくると同時に、大きな節目をお迎えする（岡崎別院総合整備落慶法要）は当に、私自身において、真っ白な始まりであることを、念わせられる一大事でもある。

# 法要報告

## 報恩講円成



二〇二四年十月二十三日、本山鎌役・信教院殿御参修、竹橋太師ご教導のもと、参勤・参詣合わせて約百名の有縁の方々のおかげさまで、当院の報恩講が円成しました。

当日は、本山(東本願寺)より鎌役・定衆・堂衆・参衆並びに山城一組・二組の御寺院の御住職方が御出仕されました。また勤行後には、親鸞聖人の御生涯とご遺徳を記された「御俗姓」が拝読されました。

勤行の後には、竹橋太師(真宗大谷派本願部)より「親鸞さまと恵信尼さま」を講題に御法話いただきました。散会の際に希望者にはお斎(お弁当)が配られました。参詣者を始め、多方面で多くの皆様の御協力を賜りましたこと、紙面をお借りして改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



↑ 御法話中の竹橋太師



↑ 登高座中の本堂



↑ 御俗姓拝読



## 秋季彼岸会

九月二十三日(秋彼岸の中日)に、当院の秋季彼岸会法要が勤まり、多くの方が参詣されました。

当日は、大阪教区泉勝寺小松肇師より「他力の念仏の救い」を講題として御法話いただきました。

## 御正忌報恩講へ参詣

本年も本山(真宗本願)にて、十一月二十一日〜二十八日にかけて御正忌報恩講が執り行われ、当院では二十三日の日中法要に御門徒三日講員等の皆様とお参りさせていただきました。

## 帰敬式

十一月、当院本堂にて帰敬式(おかみそり)が行われました。当日は剃刀の儀、勤行の後、輪番より「帰敬式を受け、法名をいただく」ということについて法話があり、参加者は静かに聴聞されました。



次回は  
3月8日!  
是非ご参加  
ください

## 報恩講前仏具お磨き

十月二十三日の報恩講に向けて、十四日に仏具磨きが行われました。

報恩講では仏具が多くなり、それぞれに役割分担を決め、綺麗に磨いていただきました。

お磨き後は輪番よりショート法話があり、昼食として別院お手製カレーを全員でいただきました。

## 京都教区坊守会一日研修会

京都教区坊守会による一日研修会が当院を会所に当院輪番を講師として開催されました。

当日は京都のみならず、長浜(特区)や島根県からも来院され、約百名の参加者の中で研修が行われました。

## 山城二組門徒会研修会

京都教区山城二組の門徒会による研修会が当院を会所に当院輪番を講師として開催されました。

## 団体参拝

十一月の本山での御正忌報恩講に併せて、多くの団体が当院に参拝されました。

本堂にて輪番より当院由来、整備事業についてお話があり、その後は館内、庭園を散策していただきました。

以前の別院を知る御門徒からは、綺麗になって驚いたという声が多かったです。

## 落慶法要まであと四か月

当院では、二〇二二年十二月に起工式を行い、約二年半の工事期間を経て昨年(二〇二四年)五月に工事の竣工式を執り行いました。

そして来る本年(二〇二五年)四月二十六日に、整備事業全体の締めくくりとして、「岡崎別院総合整備 落慶法要」が勤まります。

ここに、整備事業における工事の過程の写真を、改めて振り返っていきます。

← 御本尊の動座



2021年

二〇二一年九月、御本尊動座式を執り行い、併せて内陣仏具を搬出していただきました。

同年十二月には、整備前の本堂では最後となる起工式を執り行い、庫裏の解体や本堂の素屋根設置など、工事が本格始動しました。

→ 起工式



→ 旧庫裏解体開始



2022年

→ 本堂素屋根設置工事



2023年

→ 建設中の庫裏



→ 内陣後門柱補修



2024年

→ 境内の砂利敷



→ 五月 竣工式

二〇二五年四月二十六日  
総合整備 落慶法要を厳修します

有縁の方お誘いあわせの上、是非皆様で参詣ください

新築の庫裏寺務所や納骨堂が順次完成した後、仕上げとなる境内の外構工事が行われました。

五月には工事が完了し、御門徒や施工業者臨席のもと、「竣工式」が勤まりました。